

平成25年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
香芝市	香芝市立志都美小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

魅力と活力ある学校づくりのために 一家庭・地域との連携・協力を

- 学校ボランティアやゲストティーチャー等の支援を積極的に活用し、学校教育の活性化を図る。
- 保護者や学校評議員等への情報発信に努め、多様な意見を聞きながら、学校・家庭・地域が三位一体となった学校教育を推進する。

2 取組の概要

児童の登下校にはPTA役員・地域安全推進委員・民生児童委員の方々による見守り活動、家庭科・英語ボランティアによる学習支援、図書ボランティアによる環境整備等、学校の至る所で支援いただいている。また、教科等の深化を図るため、校区にある施設見学や特別養護老人ホームとの交流・米作り学習の一環としてのしめ縄作り等、地域の方と直接ふれ合う機会も大切にしている。

【主な活動紹介】

〈図書ボランティア〉実施時期（3名・月1～2回）

季節の飾付けやクイズ作り等、図書室の環境整備を行っていただいた。また、子どもたちが少しでも本に親しむために、1年生～3年生を対象に本の読み聞かせをしていただいた。



米作り体験の集大成

イキイキ！香芝っ子

志都美
小学校

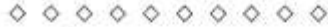
伝統のしめ縄作り

VOICE



香芝市老人クラブ連合会
会長

毎年地元の仲間と一緒に、しめ縄の作り方を教えに来ています。子どもたちには、昔の人の生活や食の大切さを感じてもらえたらいいですね。



5年生

ワラの束をわじって巻いて縄を作るのは、力が必要で大変だったけれど、楽しかったのでまたやってみたい。作ったしめ縄はお正月に飾りたいです。



5年生

お米を作るのは、家の手伝いをしているのが初めてじゃなかったけど、育てたお米をみんなで調理して食べたり、自分の手でしめ縄をつくる体験は面白かったです。



志都美小学校では毎年、住んでいる地域との交流を深めるとともに、農業の大切さを知ることの目的に、田植えからしめ縄作りまでの総合的な米作り体験を行っています。
12月9日(月)、体育館に5年生63名が集まり、しめ縄作りに挑戦しました。この日の先生は、地元老人会・自治会など地域のボランティアのかた11名です。しめ縄作りに使用するワラは、子どもたち自身が6月に田植え、10月に稲刈り・脱穀を体験してきた思い出のつまったワラです。
最初は慣れない手つきで、縄をなうのに悪戦苦闘していた子どもたちでしたが、地域のかたの手ほどきを受けながら、徐々にコツをつかんでいきます。しばらくすると、全身を器用に使ってきたきれいな縄をなえるようになってきました。「こんなに上手にできたよ」「手も足も、力を使い切って完成したよ」と、作ったしめ縄を見せ合う子どもたちの表情は、満足と達成感でいっぱいでした。

伝統のしめ縄が完成！



しめ縄の作り方を優しく手ほどき



昔ながらの足踏み式の脱穀機に興味津々！



カマを使った手作業での稲刈り